

浦安 保護司だより

浦安市保護司連絡協議会

「保護司は、社会奉仕の精神をもつて、犯罪をした者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、もつて地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉に寄与することを、その使命とする」

2017 年
創刊号

創刊に寄せて

浦安市長
松崎秀樹



「浦安保護司だより」の創刊、心からお祝い申し上げます。

また、保護司の皆様方並びに関係機関の皆様方におかれましては、日夜、地域における犯罪や非行のない明るい社会づくりの推進にご尽力されていることに対しまして深く敬意を表します。

近年、私たちを取り巻く社会環境は、著しい変化を遂げており、犯罪や非行の問題もより深刻さを増しています。中でも後を絶たない凶悪事件の発生や再犯者比率の上昇、青少年や高齢者による犯罪の増加などの問題は、家族関係の希薄化や少子高齢化、経済格差の拡大など他の様々な社会問題からも複雑に影響を受けながら、罪を犯した人々の社会復帰をより困難なものにしています。

そうした中、浦安市では、「暮らしを支える安全・安心な地域づくり」を重点的に取り組むべき課題のひとつに



松崎市長と浦安市の保護司代表が、行政との連携の重要性を懇談

平成 28 年 11 月 17 日

位置付け、地域防犯対策の推進に力を注いでいるところですが、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会の実現のためには地域社会の理解と協力、関係機関等との連携が欠かせません。とりわけ罪を犯した人々が社会復帰するためには、孤立しがちな地域社会の中で立ち直ろうとする人に温かな心で寄り添い、社会とのつながりの回復を支える保護司の皆様方の日々の活動が大きな役割を果たすものと考えております。今後も更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに「浦安保護司だより」の発行が保護司会活動の新たな一歩として、ますます充実していくことをご期待申し上げますとともに皆様方のご健勝と更生保護制度の一層の充実と発展を心よりお祈り申し上げます。

浦安市保護司コラム

歴史



昭和 25 年頃の浦安市



現在の浦安市

浦安市は、昭和 39 年から始まった埋め立て事業により市域は約 4 倍にもなり、今や人口 16 万人を超える安全で安心した暮らしができる都市へと発展してきました。

昭和 25 年 5 月に保護司活動が始まり、会長に『田中貞亮氏』が就任しています。

浦安市保護司連絡協議会会長 江澤 勇一
更生保護行政に携わって

会員の皆様 新年あけましておめでとうございます。この程広報部の熱意により本会会報の創刊号を発行する事が出来ました。今後会員の皆様のご協力により心温まるような会報に育んで頂きたいと思ひます。

私達保護司は法務省保護局の末端組織として浦安市の更生保護行政に携わっており、罪を犯してしまった人の直接的指導と、「社会を明るくする運動」等市民と共に広報活動に携わっています。

さて犯罪者の内訳を見ますと再犯者が全体の約50%を占めています。この内刑期を終えて出所して来た人がその後職場を確保出来

ない人は、職場を確保出来た人の約5倍から6倍の再犯率となっています。この数字が示す通り出所して来られた方に職場を確保する事は更生保護にとって大変重要な課題と成っていますが、現在職場を与える社会システムが十分に機能しておりません。しかし一方で国県市町村等の行政から毎年多額多量な事業が発注されており、又事業者側も官庁業務を受注しようと懸命に営業しております。その官庁事業の中には技術が無くとも出来る簡単な業務も多く含まれています。この様な状況の中で協力雇用主に加点制発注制度の制度化が急がれます。更生保護行政は市民生活に直結する施策でもありますので、行政側も再犯者の実状をご理解頂ければ、ご協力頂けるものと思ひます。

千葉保護観察所

山井 直子 保護観察官

ある保護司さんが、堀江ドッグを案内してくださいました。漁師町の面影が残る一帯からディズニールンドを臨む景色を眺めていると、新しいもの古くから続いていたもの、華やかなもの落ち着いた深い趣があるもの、そういった魅力的な要素が渾然一体となった浦安の姿を目のあたりにしたような気がしました。あの時感じたしみじみとした解放感は浦安の保護

司の方々に接していて感じる印象に近いものがあります。浦安の保護司さんの真骨頂は、さりげない温かさだと思ひます。相手の人となりやその人が大切にしていることをじっくりと理解され、その上で、本当に必要な手助けは何か、どうすれば相手を損なわずに届けられることができるか、非常に深く考え、かつあくまでもさりげなく、スマートに働きかけてくださいます。浦安の町そのものに自然と心が落ち着く存在でいてくださいます。



部会長の方針

総務部会 齋藤 博昭

総務部会の役割は浦安市保護司連絡協議会の円滑な事業を推進する為全ての保護司の皆様と事務局が一体となって進めいく所存であります。内容としまして事業計画及び予算、新任保護司の発掘・処遇活動への支援・更生保護活動に係る拠点整備・その他各部会に属さない事項等それぞれの関する事項を協議し、より良い保護司活動を前進させて頂く為には皆様のご理解と御協力が必要ですので宜しくお願い致します。

広報部会 金子 文好

広辞苑で『広報』とは、広く知らせること又そのしらせと記載されています。創刊号発行にあたり名称を簡単明瞭で誰にもわかりやすい浦安保護司だよりといたしました。読む広報誌から「見る広報誌」を基本に年一回継続発行し保護司とは何か、何をしているのかを地域社会に情報発信し更生保護及び保護司活動の普及、啓発を写真、イラスト、グラフ等で関連諸団体にご理解をいただき、皆様の温かいご支援とご協力をお願いして部会方針とさせていただきます。

犯罪予防部会 富山 勝夫

犯罪予防部会活動については、「社会を明るくする運動の作文コンテスト」に取り組んで行くことが効果的な活動ではないかと考えています。今年も市内の中学生から社会を明るくするための素晴らしい作文を沢山ご応募頂きました。部会や会全体の皆様のご意見を伺いながら、経費、稼働、効果等を比較検討し、良い物であれば実施してまいりたいと考えています。今後共、皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

研修部会 上平 紀子

平成28年度の定期総会に於いて部会の設置が承認され、既に活動が始まっているところです。研修部会としましては、各種研修や更生保護施設等の視察研修を計画し、活動を通して保護司の皆様の更なる資質向上と相互の信頼・親睦を図ることを目標に活動を進めてまいりたいと考えています。今後の更生保護活動において少しでも役立てていただきたく、皆様方の温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

保護司の一年



「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン
浦安高校ダンス部の皆さんも応援 JR 新浦安駅前



「社会を明るくする運動」街頭キャンペーン
チーバくんも応援 東西線浦安駅前



新年懇親会



浦安市保護司連絡協議会総会



県外研修 水府学園視察



視察研修 東京税関麻薬探知犬訓練センター



第 60 回千葉県更生保護大会



浦安市民まつり参加

第66回「社会を明るくする運動」作文コンテスト

平成28年度の「社会を明るくする運動」作文コンテストが行なわれました。市内の公立私立中学校から827点もの作品の集まり、選考審査で11点に絞り千葉県推進委員会に推薦しました。浦安市保護司連絡協議会『会長賞』・千葉県推進委員会『佳作』の受賞作品を紹介します。

浦安市保護司連絡協議会 会長賞受賞
千葉県推進委員会 佳作受賞

私たちができること

浦安市立明海中学校二年 木藤紗花

社会を明るくするために、私たちは何ができるでしょうか。どんなに小さな事でも、一人一人が意識をしながら生活すれば、必ず社会を明るくすることに繋がると思えます。そのために、私ができることを考えた事を二つ紹介します。

まず一つ目は、気持ちの良いあいさつをする事です。具体的に、私が考える気持ちの良いあいさつとは、相手の方を見てはっきりとした声で言い、された方が良い気持ちになれるようなあいさつです。私は小学生の時に、あいさつについて考えられたい経験がありました。全校集会であいさつについてのお話があり、先生が、相手が良い気持ちになれるあいさつとあまり良い気持ちにならないあいさつの二つ例を、実際に再現してわかりやすく説明していただきました。二つのあいさつには、相手の目を見ているか見ていないかや、はっきりとした声かぼそぼそした声か、などの違いがありました。私は、小さな違いで相手の感じ方が変わることには驚きました。また、一人一人が少し意識するだけで、多くの人が良い気持ちで一日を始めたり、終えたりできるのではないかと考えました。もう一つあ

いさつに関係する体験があります。私は、女子バレーボール部に入っていて、同じ部活動に入っている友達と、朝に公園で自主練習をしていた時の話です。私と友達が、いつもと同じようにパスをしたりしているところから「おはよう」と声が聞こえました。振り返ると、ランニングウェアを着たおじさんがランニングをしていました。「おはようございます」と私達もあいさつを返しました。すると、「いつも偉いね。がんばってね」と言っていたきました。私は、応援していただいた事も嬉しかったけど、それよりもあいさつを通して地域の人とコミュニケーションをとれたことが嬉しくて、常にあいさつを大切にしようと思いました。このように二つの例から、気持ちの良いあいさつを一人一人が少し意識することで、多くの人が明るく一日を過ごせたり、地域の人とコミュニケーションがとれる事ができます。二つ目に紹介したい事は、助け合いと感謝の気持ちを大切にする事です。それを考えるきっかけになったのは、私が、落とした物を拾ってあげた時のことです。スーパーマーケットで買い物をしていて、近くにいた赤ちゃんを抱いていた女性が、手に取った物を落としてしまいました。「どうぞ」と拾って渡してあげると、女性は「ありがとう」とすごく嬉しそうに言いました。私は、ありがとうという言葉が嬉しくて、人の役に立てると言う事は本当に良い事だな、と思いました。また、反対に私が助けてもらった事もあります。部

活の仲間で遊んだ時の事です。自転車をとめる時に、私は自転車の鍵が無いことに気がつきました。かばんやポケットの中に入っていなかったもので、どこかで落としてしまったんだな、と思いました。駐輪場に落としたのかもしれない、と思ったので帰ってから一人で探しに行こう、と考えていました。帰る時間になって私が「また明日ね、ばいばい」と言うと、友達みんなが「私達も探すよ。どこら辺に落ちてそう?」と言ってくれました。そして、鍵が見つかったと、「よかった」と自分の事のように喜んでくれました。困った時に助けてくれて、とても嬉しかったし、とてもあたたかい気持ちになりました。私は感謝の気持ちをこめて、「本当にありがとう」と言いました。このように、助け合いと感謝の気持ちには、人の心をあたたかくする力があります。社会を明るくするために私ができると思う事について、あなたはどのような事を感じましたか。あいさつには、多くの人が良い気持ちで一日を過ごす事ができるようになる力があり、助け合いと感謝の気持ちには、人の心をあたたかくする力があります。そして、この二つを大切にすれば、社会を明るくする事ができると思います。紹介した二つの事以外にも、コミュニケーションを大切にしたり、一人一人の個性を大切にするなど、私達が出来る事はたくさんあります。みなさんも、社会を明るくするためにできる事を考えてみて下さい。

浦安
保護司だより

平成29年1月1日創刊号発行
浦安市保護司連絡協議会 広報部会

事務局
社会福祉法人浦安市社会福祉協議会
〒279-0042 浦安市東野1-7-1 総合福祉センター内
☎ 047-355-5271 FAX047-355-5277